

# 床用Exp.j.c.の選定について

## 1 軽歩行の考え方

主に人の往来、乳母車の通程度。(主にマンション、一般ビルなど)

### ■軽歩行対応



耐荷重性能について

- Sシリーズの耐荷重性能は、安全率を考慮して**1654(N)~1760(N)**の設定としています。
  - Hシリーズの耐荷重性能は、安全率を考慮して**1516(N)~2757(N)**の設定としています。
- ※クリアランスにより耐荷重性能は異なります。

Sシリーズの耐荷重性能詳細についてはカタログ43ページをご参照ください。

Hシリーズの耐荷重性能詳細についてはカタログ49ページをご参照ください。

※安全率の考え方についてはカタログ54ページ設計基準解説書をご参照ください。

一時的に、床用Exp.j.c.の上を重量物が通る場合は、その荷重に耐えられるコンパネまたは鋼板などで養生してください。

(例えば、共同住宅などで引越しの際にピアノが通る場合など。)

## 2 重歩行の考え方

常に多くの人々が往来する。(病院、駅ホーム、商業施設など)

重量物が通る。(病院、駅舎、工場などのストレッチャー、学校などの給食配膳車、台車などが通る。)

### ■重歩行対応



耐荷重性能について

- 重载荷タイプの耐荷重性能は、安全率を考慮して**3080(N)~5345(N)**の設定となります。
- ※クリアランスにより耐荷重性能は異なります。

重载荷タイプの耐荷重性能詳細についてはカタログ43ページ(Sシリーズ)、49ページ(Hシリーズ)をご参照ください。

※安全率の考え方についてはカタログ54ページをご参照ください。

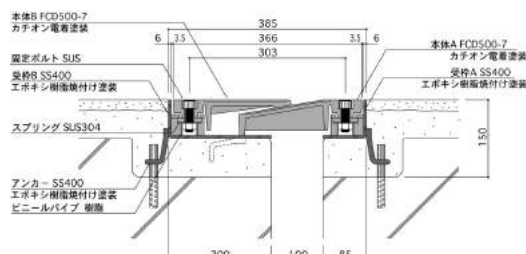
## 3 車路用エキスパンションジョイントカバー

25トンの耐荷重性能。

車路用エキスパンションジョイントカバーアーキパンションT-25。

多層駐車場や緊急車輛が通過する車路において、最大変形性能50mmの3次元可動を実現し、車輛通行による振動等にフレキシブルに対応します。

対応クリアランス	
50~100mm	
※クリアランスが異なる場合はご相談ください。	
仕様	
材質	鋳鉄FCD 500-7
表面仕上	カチオン電着塗装



# 床用Exp.j.c.の選定について

## 設計基準 解説書

本計算は、下記条件の設計基準により算定しております。

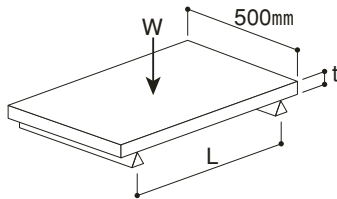
### 1 設計条件について

アルミ形材	A6063S-T5	許容応力度(短期)	110(N/mm <sup>2</sup> )
ステンレス	SUS304	許容応力度(短期)	205(N/mm <sup>2</sup> )
スチール	SS400	許容応力度(短期)	235(N/mm <sup>2</sup> )

●荷重条件は集中荷重とします。

●荷重幅は人の歩行及び台車幅を考慮して500mmとし、

断面性能計算時の幅寸法と設定します。

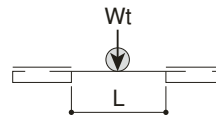
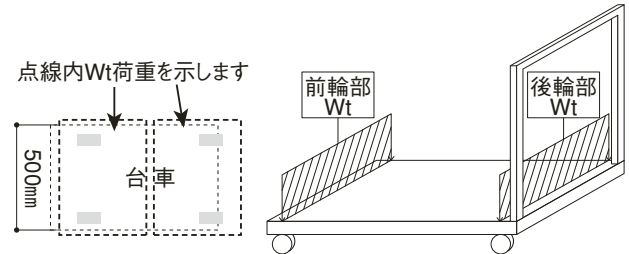


W : 許容荷重(N)………一般歩行のみ  
Wt : 安全率(1.5)を考慮した許容荷重(N)……\*台車又は歩行頻度の多い場合  
〈計算例〉Wt= W(製品許容荷重) / 1.5(安全率)  
Z : 断面係数(mm<sup>3</sup>)  
M : 曲げモーメント(N・mm)  
σe : 許容応力度(N/mm<sup>2</sup>)

●台車の考え方

車輪距離(台車幅)は500mmとします。

台車進入方向はクリアランスに対して直行とします。



台車の前輪部又は後輪部にかかる荷重のどちらか一方でも安全率1.5を考慮した製品許容荷重(Wt)を超えない台車として下さい。

注1) 荷重(Wt)は車輪一輪当たりの重量ではありませんのでご注意ください。

### 2 安全率(1.5)の考え方について

●A : 歩行頻度が多い場合は(常時、人が乗っていると想定して)長期許容応力度と設定しています。

$$\text{長期許容応力度} = \frac{\text{短期許容応力度}}{1.5}$$

(Wt) (W)

●B : 台車の往来については、台車重量に対して衝撃力を考慮しており衝撃係数を1.5としています。

よって、上記2点より弊社では「安全率(1.5)」と表記しております。

### 3 注意事項

●本計算はアーキバンション標準納まりの条件で計算をしております。クリアランスがこの範囲を超える場合、又は取り付け仕様・下地構造が異なる場合は製品許容荷重が変わります。

●本計算は躯体等の不陸を考慮しておりません。躯体などの不陸がある場合、不陸調整材(ライナー等)を使い、正しい納まりとなるようお願い致します。

●床Exp.j.c.を外部的に使用する場合、特に直射日光の影響で熱伸びが予測される場合はジョイント部に目地を設けてください。(詳しくは弊社担当にご相談ください。)

# 床用Exp.j.c.の漏水対策

使用部位、目的によって漏水対策は異なります。

一般的に、床エキスパンションジョイントカバーの漏水対策は屋内を基準としています。  
屋内での使用に当たっては、エキスパンションジョイントカバーに水を流さないでください。  
エキスパンションジョイントカバー用のシートは誤って水をこぼした場合に、一時的に受けるためのものです。

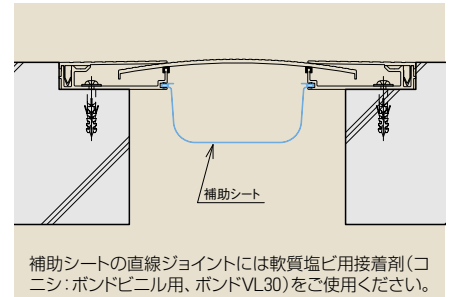
## 1 集合住宅などの外部廊下でエキスパンションジョイントが切られている場合。 (下のフロア、部屋内にクリアランスか通じていない場合)

天井部分のエキスパンションジョイントカバーについて、雨が降っている時は構わないが雨が上がった時には、エキスパンションジョイントカバーから雫が垂れないようにしたい。



**補助シート仕様** + 外廊下、天井エキスパンションジョイントカバー端部に水抜き穴を設けます。

■補助シート仕様  
基本的に屋内仕様です。標準の補助シートを使用。

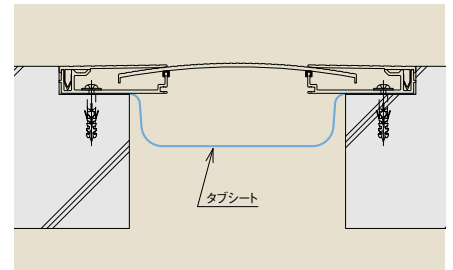


天井部分のエキスパンションジョイントカバーについて、雨が降っている時でもエキスパンションジョイントカバーから雫が垂れにくくしたい。



**タブシート仕様** + 外廊下、天井エキスパンションジョイントカバー端部に水抜き穴を設けます。

■タブシート仕様  
別途、タブシート(1.0mm又は1.2mm)を使用。床、エキスパンションジョイントカバーのFホルダー下までタブシートを敷き込みます。



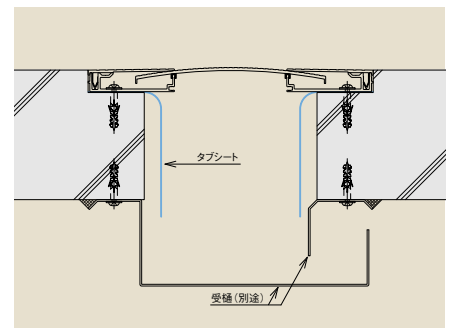
## 2 集合住宅などのエレベーターホール付近(外部廊下に繋がる部分でさらに下のフロアが、エントランスホールなどの部屋内の場合)にエキスパンションジョイントが切られている場合

集合住宅のエントランスホール、天井部エキスパンション部からの雨水の浸入をより安全に保護したい。



**受樋仕様(別途工事)**  
水勾配に注意してください。

■受樋仕様(より安全な止水対策)  
受樋を施します。(別途工事)



※不明な点は弊社営業担当員にご相談ください。